

OB、保護者、関係者の皆様へ

## 2017シーズン終了のご報告

日に日に寒さが増してきております今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

11月18日に行われました関東リーグ22節、日大戦の終了を持ちまして、今シーズンの全ての日程を終了しましたことを、ここにご報告いたします。皆様のご支援の下、全てのカテゴリーにおいて無事に活動を終了することができました。改めて感謝申し上げます。

今シーズンの関東大学リーグ戦を振り返ってみますと、非常に惜しいというゲームが多かったと感じます。インジュリタイムでの失点により失ったポイントは10ポイントに及びます。チームとしても詰めが甘かったというしかありません。しかしながら、10ポイントを積み上げたとしても、昇格には程遠かったことも事実です。昇格チームとのレベルの差は歴然としていました。昇格を意識した場合、相当の覚悟が必要ということでしょう。個人またはチームとして毎日生活していく中で、どれだけのことができたか。今後その点が問われていくことになると思います。1日の生活の中ではほんの些細な事でも、積み上げていけば、大きなものになっていきます。しかし積み上げがなければ、同じことの繰り返しになってしまいます。この点は非常に考えさせられるシーズンでした。

選手たちは非常に努力したことは間違いありません。しかしそれ以上のことを、次シーズンは求められるということです。新しいメンバーには、そのことを意識して日常を過ごして欲しいと考えています。

トップチームのゲームは27試合に及びました。その内訳は天皇杯4試合、アミノバイタルカップ1試合、関東リーグ22試合となります。出場選手は23名、出場機会は設けられませんが、ベンチ入りメンバーが10名、合計33名がリーグ、トーナメントを戦いました。最終的なトップチームのメンバーよりも多いメンバーが公式戦に関わったこととなります。多くのメンバーに関わったことは、個人の努力はもちろんですが、私自身も意識している点でもあります。選手たちが経験を積み、その経験を継承し、伝統を築きあげてもらいたいという願いを込めています。新しいチームには、今シーズンの経験をきちんと引き継ぎ、新たな伝統を創り上げてもらいたいと思います。

最後に会場に足をお運び頂いた皆様はじめ、常に蹴球部の活動を見守って下さる全ての方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

2017年11月22日

檜山 康